



市民クラブは、平成26年10月8日（水）に田上市長へ、平成27年度予算編成に向けての政策要求書を提出しました。要求書は、市政運営に対する考え方や予算編成に対しては、これまでの要求内容を踏襲しながら、人口減少や少子・高齢化の対応などの喫緊の課題対策、大型事業の十分な検証と財源確保に努めると共に「活力ある住みよい長崎をめざす」為に、27年度予算で早急に取り組むべき課題について提出しました。

平成27年度の主な重点課題（抜粋）

- (1) 新市庁舎については、必要な機能および規模・財源の確保等、市庁舎・支所機能再編検討特別委員会等の提言を踏まえ、具体的計画を提示すること。
- (2) 大型事業（長崎駅周辺整備、新市庁舎建設、文化施設整備、端島（軍艦島）整備等）については、事業計画、施設整備や事業費など、十分に精査して、議会に適宜報告していくこと。
- (3) 長崎みなとメディアカルセンター市民病院は、医療サービスの向上はもとより、安定した高度医療・周産期医療を期待できる病院として安定経営を構築すること。
- (4) 介護支援（地域支援事業）や介護予防の強化、地域包括ケアシステムの構築等、介護保険制度の充実と適正化を図ること。
- (5) 企業誘致で雇用確保、定住人口の増加
- (6) ① 将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化・推進すること。また、企業誘致についても県と連携を図り早期に誘致すること。
- (7) 長崎駅周辺の環境整備
- (8) 九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の建設工事、新長崎駅舎の建設計画、土地区画整理事業の早期実現と環境整備の充実を図ること。
- (9) JRの高架化促進と交通渋滞の解消を図ること。
- (10) 市内中心部の交通量を減少させる対策（パークアンドライド）を推進すること。
- (11) 浜口交差点から岩屋橋交差点までの交通渋滞解消策。

やさしい街づくり！元気な長崎！

長崎市議会議員



だより 50号 いっわ清隆

平成26年11月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：板山 孝宏 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



総合優勝の「ボウリング競技」選手団

晩秋の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお慶び申し上げます。

「MICE施設」用地取得費否決

9月10日から開催されました定例会は、開会前からMICE議会と言われていましたが、予想通り施設建設用

地取得費を審議する環境経済委員会が始まるとマスコミ関係者・多くの市民の方々が傍聴する中での審査となり、結果は賛成少数で否決となりました。私も本会議や常任委員会にて今日までの市の進め方について（本市の財政負担・経済効果の不透明・市民への説明不足など）について意見を述べてきました。土地取得費・建設費で200億円を超える大型事業でありますので、市より再上程されても慎重審議に努めて行きます。（3ページにMICE事業について記載しています）

「長崎がんばらば国体」総合優勝

「第69回国民体育大会」が10月12日から22日までの11日間に渡り、45年ぶりに長崎県で開催されました。全国から約2万2千人が参加され、県内各地で熱戦が繰り広げられ、長崎県は関係者・選手・県民が一丸となって取り組んだ結果、見事総合優勝を勝ち取ることが出来ました。

私も、長崎市ボウリング連盟会長として、大会期間の13日から16日まで



7月 市保健環境連合会総会



8月 KAKKIN長崎平和全国集会



9月 地元自治会「敬老会」



9月 長崎市ボウリング連盟で団体出場選手の決起大会を行いました



10月 労働組合「研修会」にて市政報告



10月 プラジラ・サントス市への路面電車贈呈式

「いっわ清隆」議員だよりの編集責任者として4年間活動されました「中山好文」氏が10月1日より三菱重工労組長船支部の長崎市全般的の担当となりましたので、後任に「板山孝宏」氏が担当になりました。中山氏は4年前の平成23年4月に施行されました長崎市議会議員選挙の「いっわ清隆」議員の選対長として活動され、3期目の当選を果たしていただき感謝申し上げます。今後は長崎市全体の担当となり幅広い活動となりますが、今日までの経験を糧に活躍されることを祈念いたします。板山氏には来春の長崎市議会議員選挙では何かとお世話になります、よろしくお願致します。

ご相談はお気軽に！



長崎市の都1丁目1444-13 自 宅 電話 (844) 95999 生活相談室 電話 (861) 19885

ボウリング会場のラッキーボウルで熱戦を観戦していました。全国大会の観戦は初めての経験で選手・応援団の熱気を肌で感じる事が出来ました。更には予選通過ライン（8位までが決勝戦）が数点差で一投・一投の重みがわかりました。（長崎県チームは12名で、その内、長崎市在住の6人の選手が出場して、ボウリング競技は総合優勝することが出来ました）

残りの任期も半年、全力で頑張ります

皆さま方には、平成15年4月に施行されました「長崎市議会議員」初当選以来、ご支援・ご協力を賜り3期目の任期も半年となりました。過去3回の選挙でも非常に厳しい状況でありましたが、4期目の選挙も厳しい戦いになると思いますが、今後も市民の皆さんへ長崎市の将来像を訴えながら「安全で安心して生活できる環境づくり」に向けて諸活動を積極的に行っていきます。

皆様方にはさらなるご指導・ご支援をよろしくお願致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

長崎市が検討しているMICE(マイス)とは

MICEとは、
 ● 企業等の会議(Meeting)
 ● 企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)
 ● 国際機関・団体、学会等が行う国際会議など(Convention)
 ● 展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)
 の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

〈MICE事業の検討の背景〉

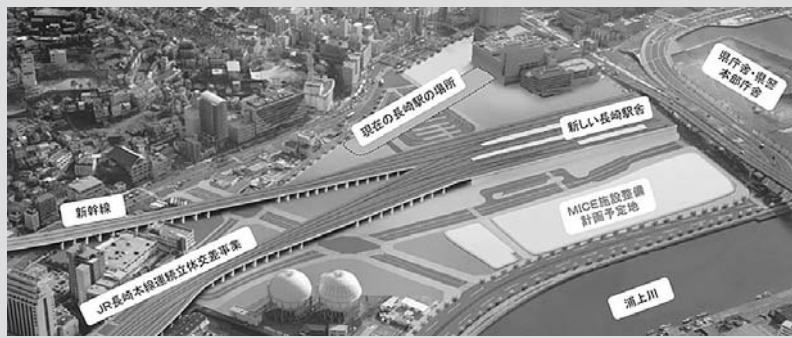
これまで長崎に来てもらってなかった人たちに来てもらう
 1. 人口減少や少子高齢化に直面する長崎市が持続的に発展を遂げるには、市域内の経済循環でなく、市域外からの外貨を稼ぐことが重要です。これまでの観光客に加え、ビジネス客などを新たに呼び込むことができるMICE事業の推進は必要な取組みです。
 2. MICEは、歴史、文化、夜景、食などの観光資源、大学の存在、平和・医学情報の集積など、長崎の個性や資源を活かすことができるので、交流人口の拡大に非常に有効であると考えています。

〈敷地〉

長崎駅西側用地 約20,000平方メートル(現民有地)
 隣接保留地 約3,000平方メートル

〈事業手法〉

- 公設民営方式・指定管理者制度の導入
- 利用料金制による独立採算での運営
- ホテル事業は民設民営方式で実施



長崎市で今後想定される大型事業

事業名	全体事業費	総事業費 (今年9月)	前回の総事業費 (昨年11月)	予定期間(年度)
新市庁舎建設事業	総事業費と同	約230億円	約200億円	着手時期検討中 2014~2019
端島(軍艦島)整備事業	〃	約50億円	約10億円	2014~2024
文化施設事業(公会堂)	〃	約30億円	約30億円	検討中
市民病院建設事業	約206億円	約47億円	約40億円	2008~2015
新西工場建設事業	総事業費と同	約87億円	約80億円	2013~2016
MICE建設事業	〃	約216億円	約210億円	2014~2018
長崎駅周辺整理事業	〃	約154億円	約154億円	2009~2023
JR立体交差事業負担金	約431億円	約74億円	約88億円	2009~2020
新幹線長崎ルート負担金	約1,100億円	約13億円	約13億円	2012~2022
市道大黒町(拡幅整備)	総事業費と同	約40億円	約40億円	2014~2020
合計	2,544億円	約941億円	約865億円	

- ①新市庁舎建設は決定していないが、建設資材費の高騰により30億円の増加
- ②軍艦島の事業内容は決定していないが、護岸および生産施設等のみ整備する案より、居住施設の一部についても整備する案が有力であることから変更
- ③市民病院建設場所で土壌汚染対策等により全体事業費が増加
- ④MICE施設の用地費は増となる見込みで、施設の建設内容を見直したが建設資材費の高騰により増加
- ⑤JR立体交差事業はJR九州の事業費負担を反映させたことにより減少

平成26年9月議会に土地取得特別会計予算で、MICE施設を念頭に置いた交流拠点施設用地として、長崎駅西側の「日本貨物鉄道(株)所有の土地を、先行取得する」として68億円の補正予算が上程されました。「環境経済委員会審査されました。」

いについて、JR貨物から提示された条件を了承するに至った経緯
 ③MICE事業に対する長崎県の協力体制
 ④誘致ターゲットとして想定している、中規模学会の想定開催件数
 ⑤施設建設ではなく、他の観光資源を磨くことにより観光客を誘致する考え等、多くの意見が出され、委員会で採決の結果、賛成少数で原案否決となり、10月1日の本会議(40名全議員)で採決を行い否決となりました。

コンベンション施設(MICE施設) 用地取得費(68億円)否決!

平成26年9月議会

平成26年度一般会計補正予算 (約15億5,200万円)

22議案可決・1議案修正可決・1議案否決

長崎市議会・平成26年9月定例会は、9月10日(水)に開会し、10月1日(水)に最終本会議が開催され、MICE施設建設用地取得費(68億円)の特別会計補正予算案は賛成少数で否決され、当初一般会計補正予算案(29億3,400万円)は用地取得費の一部に充てる予定だった財政調整基金からの繰り入れ分(13億8,200万円)が減額され、15億5,200万円の補正予算となりました。
 議員提出議案の「手話言語法制定を求める意見書」は全会一致でされて、同日付けで首相や関係大臣に要望することになりました。

◆支所機能整備費

：1,200万円
 平成27年1月から支所を取り扱う受付業務を拡充するため、各支所に必要な備品の整備や西浦上支所の待合スペース改修などに要する経費を計上する。

◆世界遺産登録推進費

：390万円
 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産である「出津教会堂と関連施設」及び「大野教会堂」周辺に臨時駐車場及び仮設トイレを整備し、併せて警備員配置と誘導案内板設置を行う。
 ・臨時駐車場整備 約40台分
 ・仮設トイレ設置 4基

◆警備員配置 2名

・誘導案内板設置 8基

◆高齢者施設開設準備費補助金

：1,792万2千円
 野母崎診療所の建物に開設する地域密着型特別養護老人ホームの開設準備に要する経費に対して助成する。

・対象施設 1か所(野母町)
 ・補助額 61万8千円×
 整備床数(29床)

◆開設予定時期

平成27年9月

◆高齢者等肺炎球菌予防接種費

：1億146万2千円
 予防接種法施行令の一部改正により、高齢者の肺炎球菌予防接種が定期接種の対象となったことに伴い、予防接種に必要となる経費を計上する。

〈対象者〉

65歳の者及び60歳以上65歳未満の者であつて、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者

〈経過措置〉

平成26年度から平成30年度までは、当該年度に65、70、75、80、85、90、95、100歳となる者を定期接種の対象とするが、平成26年度は、当該年度に101歳以上となる者を併せて実施。

◆自己負担額 2,000円

定期予防接種費

：1億1,202万3千円
 予防接種法施行令の一部改正により、乳幼児の水痘予防接種が定期接種の対象となったことに伴い、予防接種に必要となる経費を計上する。

・対象者 生後12月以上生後36月未満の者(2回接種)
 ・経過措置 平成26年度については、生後36月以上生後60月未満の者についても実施(1回接種) 自己負担額・なし

◆【単独】公園施設整備事業費

西坂公園(日本26聖人殉教記念碑修復)
 ……3,600万円

経年劣化が著しい、西坂公園の日本26聖人殉教記念碑の修復を行う。

◆小学校管理費

教材整備費…1,980万円
 理科教育設備整備費補助金の追加募集分を活用し、不足、老朽化した生物顕微鏡等の備品を各小学校に配置する。

◆中学校管理費

教材整備費…1,020万円
 理科教育設備整備費補助金の追加募集分を活用し、不足、老朽化した生物顕微鏡等の備品を各中学校に配置する。

◆ごみ収集委託(中央A・B地区、南部C地区)

：10億4,562万円
 平成27年度から平成31年度にかけて実施する、中央A・B地区、南部C地区の計3地区のごみ収集業務委託について、平成26年度中に契約を締結する必要があるため債務負担行為を設定する。
 ・設定期間 平成26年度～27年度